

効果的な健康長寿推進のための 地域診断支援システムの構築とその活用に関する研究 —インタビュー分析を踏まえた支援システムの検討について—

浦松和枝・市川宏枝・泉 宏導・酒井忠彰

Study on the Community Diagnosis Support System for the Effective Promotion of Health and Longevity
- Examination of the Support System based on the Interview Analysis -

Kazue URAMATSU, Hiroe ICHIKAWA, Hiromichi IZUMI, Tadaaki SAKAI

1. はじめに

保健行政・事業の推進のためには、保健衛生統計情報等を活用して地域の健康問題やその特徴を把握する「地域診断」に基づいた施策の立案・実施が重要とされているが、市町等(市町等)での取り組みは進んでいない状況にある。

このため、平成 23 年度に、市町等における課題等現状を把握し、健康長寿推進のための重要課題である生活習慣病対策について地域診断を支援する枠組み「地域診断支援システム」を検討し、効果的な地域診断支援の在り方を探った。

なお、今回の検討に際しては、健康課題の中心課題である生活習慣病対策を着目し検討を行っている。

今回、地域診断支援システムの全体像とシステムの核の一つとなる情報提供ツールに係る検討結果について報告する。

2. 方法

2. 1 市町等における課題の把握

地域診断の支援ニーズや課題を探り、本システムの構築に反映するため、地域診断に関する聞き取り調査および地域診断に係る研修受講者への調査を行った。

(1) 市町等担当者への聞き取り調査

「効果的な健康長寿推進のための地域診断支援システムの構築とその活用に関する研究—福井県内自治体保健師の地域診断に関するインタビュー分析—¹⁾」による。

(2) 研修効果に関する調査

- ・対象：県および市町の新任保健師およびプリセプター 27 名
- ・方法：地域診断に係る研修受講前後および受講 2 カ月後のアンケート調査

2. 2 地域の保健衛生統計情報等の収集および指標化

地域診断支援情報として提供することが有用となる生活習慣病に係る総合的な評価指標の検討および算出を行った。

(1) 指標区分

生活習慣病の発症から重症化・死亡の流れに沿った 5 段階のステージを設定し、その各ステージにおける指標を検討した。

(2) 基礎統計情報の収集

指標の算定に必要な次の基礎統計情報を収集した。

なお、福井県特定健診・保健指導事業報告については、市町別の特定健診およびレセプトに係るデータを統一した手法で、評価を行い、経年的な分析が行えるよう県

健康増進課と共同にて平成 21 年度に作成・採用した様式により実施された調査報告である。

- ・福井県特定健診・保健指導事業報告 (H20~22)
- ・福井県がん登録
- ・福井県の推計人口 (年報)
- ・衛生統計年報人口動態統計
- ・その他全国の統計資料

(3) 指標算出

各ステージにおける各市町の統計データを、県全体を基準集団とした場合の比として、標準化死亡比の算定や静岡県における先進事例の手法に準じて算出した。その際に各市町の年齢構成の違いを考慮し、年齢調整を行っている。

2. 3 地域診断支援システムの検討および情報提供ツールの設計

2. 1 および 2. 2 の結果を踏まえ、地域診断支援システムのフレームワークを検討する。また、同システムの核の一つとなる情報提供ツールを設計した。

3. 結果と考察

3. 1 市町等における課題の把握結果

(1) 聞き取り調査結果

調査の結果、以下の点が主要な課題として挙げられた。

- ・数字や統計に対する苦手意識による取り組みの躊躇
- ・必要な統計情報が容易に収集できない環境
- ・データ不足や分析不足による非成功体験の影響により、地域診断を実施する強い気持ちに結び付いていないこと。

詳細は、「効果的な健康長寿推進のための地域診断支援システムの構築とその活用に関する研究—福井県内自治体保健師の地域診断に関するインタビュー分析—」による。

(2) 研修効果に関する調査結果

図 1-1 のとおり、地域診断に活用する情報や、健康指標に関する知識は、受講前十分に理解しているとは言いがたく、研修を受講することで一時的に知識は身に着くと考えられる。しかし、図 1-2 のとおり、地域診断の実施状況に大きな変化はなく、研修受講後地域診断を職場で繰り返さない場合は学習効果がなくなると考えられた。

さらに、図 1-3 を見ると地域診断実施についての意識は、研修直後に下がっており、知識がつくことでかえって地域診断が難しいものと捉えられたのではないかと考えられ、研修受講後の実践が必要と思われる。

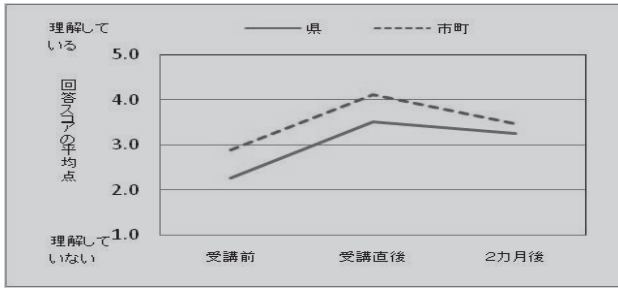


図 1-1 健康指標に関する理解度

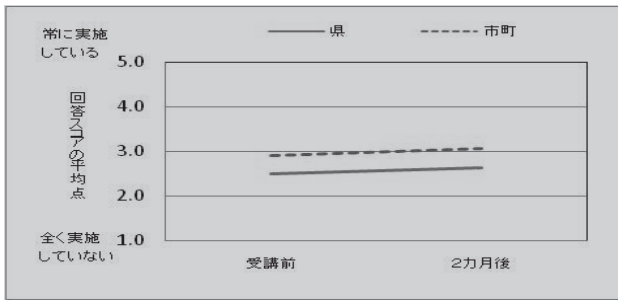


図 1-2 地域診断の実施状況

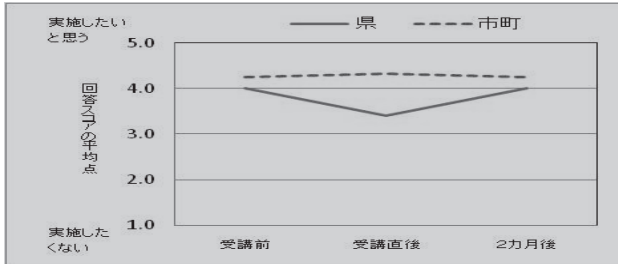


図 1-3 地域診断実施の意識

3.2 指標の検討および算定

生活習慣病の予防・重症化のステージ(図2)について、それぞれリスクの該当率や疾病の受療率、死亡率を各ステージの指標とした。

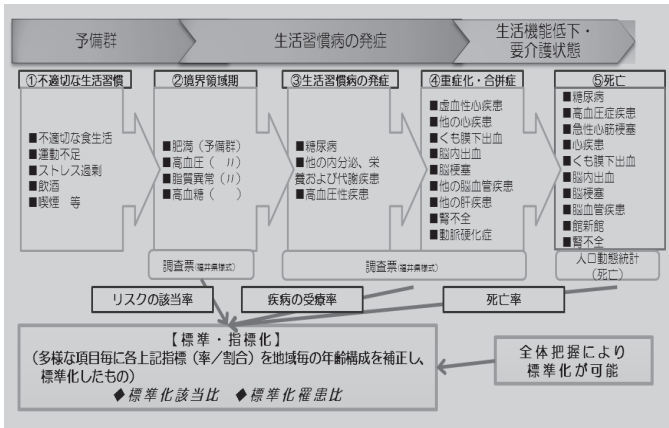


図 2 ステージの設定と標準化指標

各標準は、標準化死亡比の算出方法や静岡県先進事例¹⁾を参考に表1により標準化し算出した。

ただし、①不適切な生活習慣ステージについては、今回、指標化に必要な十分なデータの収集ができなかったため指標化から除外した。

これらの指標を生活習慣病の進行ステージ沿って並べ、県内市町別の値を比較検討し、表2のとおり8つのパターンに類型化した。この類型化の結果から、指標を用いて地域の健康課題の大まかな傾向が読み取れ、各市町でより掘り下げた地域診断へ発展が可能となると考えられる。

表 1 各指標の算定方法と基礎資料

ステージ	指標	算定方法	基礎資料
②境界領域期	標準化該当比	(当該期患者の総リスク保持者数 / (当該期患者の性別年齢階級別受診者数 × 福井県全体の性別年齢階級別のリスク保持率の総和)) × 100	福井県特定健康・保健指導事業報告の5歳階級別「内臓脂肪の有無」「高血糖」「高血圧」「脂質異常」のリスク(重複も含め)別人数を使用
③発症	標準化罹患比	(当該期患者の総疾病罹患患者数 / (当該期患者の性別年齢階級別保険者数 × 福井県全体の性別年齢階級別の疾病罹患率の総和)) × 100	福井県特定健康・保健指導事業報告における5歳階級別疾病別(12疾患+生活習慣病)人数を使用
④重症化	標準化死亡比	(対象集団の総死亡数 / 対象集団の年齢階級別死亡数 × 全国年齢階級別死亡率の総和)) × 100	福井県の人口動態統計 福井県の対応人口 人口動態統計

表 2 指標でみる地域診断のパターン

ステージ	②境界領域	③発症	④⑤重症化・死亡	地域診断パターン
指標	標準化該当比	標準化罹患比	標準化罹患比・死亡比	
水準	高い	高い	高い	①健康課題解決が必要と思われるものうち、最も優先順位が高いと考えられる。
			低い	②健診受診者にハイリスク者や高齢者が多いと考えられる。
		低い	高い	③医療が必要にも関わらず、受療していない。あるいは、セルフコントロールが適切でないと考えられる。
			低い	④健診受診者に高齢者が多いと考えられる。
	低い	高い	高い	⑤健診受診率が低いことが考えられる。健康課題解決の優先順位が高いと考える。
			低い	⑥受療状況がよいと考えられる。
		低い	高い	⑦健診受診率が低く、潜在的な疾病保持者が多いと考えられる。あるいは、医療体制の不備が考えられる。
			低い	⑧健康課題解決の優先順位として最も低いと考えられるもの。

3.3 地域診断支援システムのフレームワークの検討および情報提供ツールの設計

3.1の結果から、関連する衛生統計情報を一定の質を保ちつつ、地域保健担当者が理解しやすい形で視覚化等を行い、また、容易にコンタクトできるような情報を一元管理して提供できる情報提供システムが必要と考えられる。

ここで提供する情報には地域的特徴の把握が可能となる3.2の指標の活用が望ましい。また、3.1(2)の結果から地域診断の実践に結びつくスキル・意識の向上・継続を図るため充実した研修等を組み合わせが必要である。

以上の要件をシステムフレームワークにまとめ図3に示す。また、このフレームワークに従い情報提供ツールの設計を試みた(図4)。

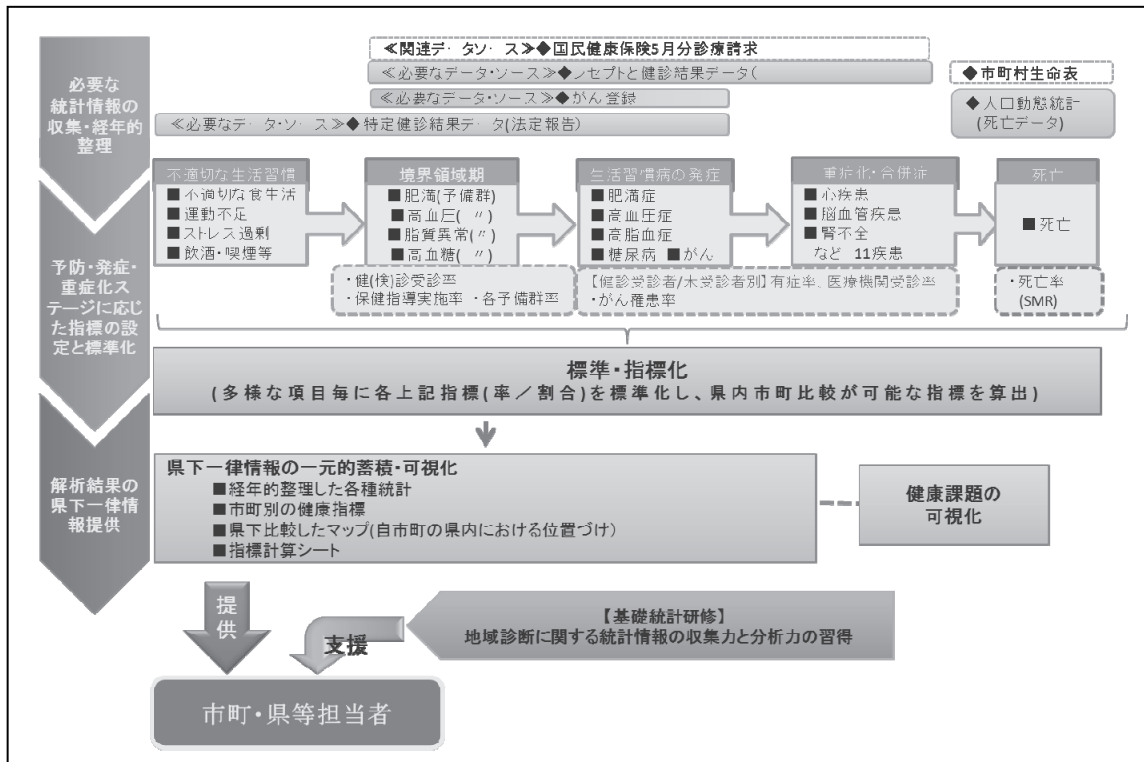


図3 生活習慣病対策のための地域診断支援システムのフレームワーク

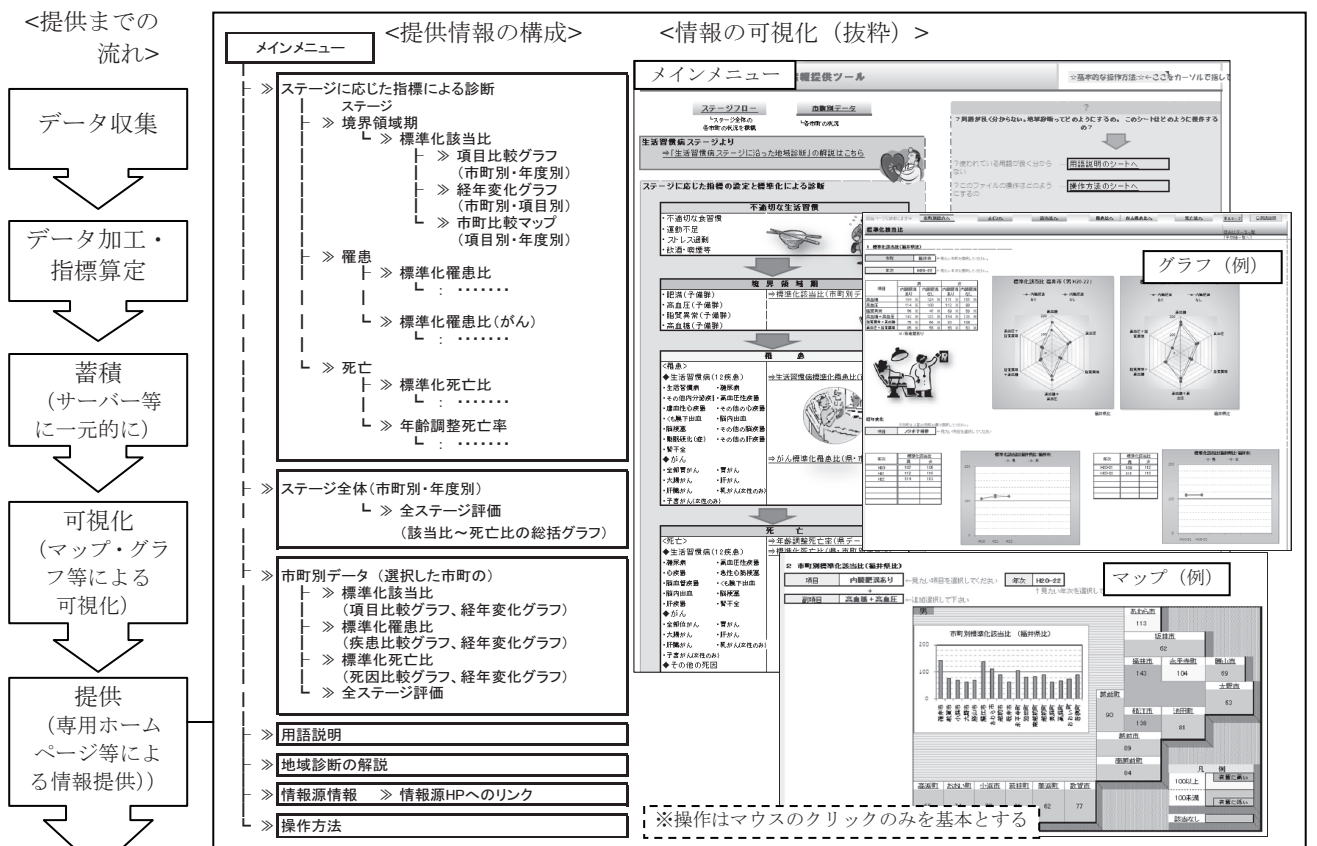


図4 情報提供ツール

4. まとめ

地域診断の実施に係る市町等における課題として、保健衛生統計情報は多岐にわたるため、その情報の入手や分析が困難であること、得た情報の理解・分析等技術の習得機会が十分でないことが明らかとなった。

これら課題の軽減し、地域診断を促進するため、健康長寿推進のための重要課題である生活習慣病対策について、地域の状況を俯瞰・比較する指標を地域の保健衛生統計情報等を整理・標準化し設定するとともに、こうした情報を一元管理し・可視化して提供する情報提供システムに技術習得を支援する研修システムを組み合わせた「地域診断支援システム」の構築・推進が望まれる。

参考文献

- 1) 浦松和枝他：効果的な健康長寿推進のための地域診断支援システムの構築とその活用に関する研究－福井県内自治体保健師の地域診断に関するインタビュー分析－,福井県衛生環境研究センター年報,10,83-91 (2011)
- 2) 平成20年度特定健診・特定保健指導に係る健診データ報告書 (静岡県)